



2023年12月期 決算補足説明資料

2024年2月9日

荏原実業株式会社



目次

1. エグゼクティブ・サマリー

エグゼクティブ・サマリー

2. 2023年12月期 決算概要

2023年12月期 業績ハイライト
2023年12月期 業績推移
2023年12月期 セグメント別業績推移
2023年12月期 セグメント別業績（前期比）
売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

3. 2024年12月期 事業計画

2024年12月期 事業計画
2024年12月期 セグメント別事業計画
2024年12月期 計画のポイント

4. 株主還元

配当
自己株式

5. 中期経営計画「EJ2024」の進捗状況

「EJ2024」最終年度計画と2024年12月期事業計画
売上高・営業利益の状況
2023年12月期の取組みの進捗・成果
投資戦略（2022－2024年）

6. トピックス

水銀フリーの新型オゾンモニタを開発
腐植質脱臭剤「ボエフ」が川崎CNブランドに認定

7. 資料編

荏原実業の経営理念・方針
事業概要
沿革
セグメント別事業概要
業績推移（過去10年間の業績）
業績推移

エグゼクティブ・サマリー

市場環境

- 水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 都市再開発需要や製造業の国内拠点新設需要など、民間設備投資は堅調に推移
- 資機材価格上昇や工期延長などの影響は縮小傾向
- 感染症対策の緩和に伴い、医療分野の需要減少

2023年12月期 決算のポイント

- 受注高384億円、売上高362億円、営業利益40億円といずれも過去最高を更新
- 販管費が人件費を中心に増加

2024年12月期 事業計画

- 売上高380億円、営業利益40.5億円、2期連続の過去最高を計画
- 市場環境は官民共に堅調に推移
- 高水準の期首受注残高を背景に増収を見込む
- 人件費、研究開発費の増加により販管費増を計画するものの、増収により営業利益増加を見込む

株主還元

- 2023年12月期は1株当たり配当金 85円を予定、2024年12月期は1株当たり配当金 95円を計画（1株あたり10円の増配）
- 株主還元の一環として、自己株式取得の検討を継続

2023年12月期 決算概要

2023年12月期 業績ハイライト

受注高・売上高・営業利益・経常利益いずれも過去最高を更新

市場環境

- 水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 都市再開発需要や製造業の国内拠点新設需要など、民間設備投資は堅調に推移
- 資機材価格上昇や工期延長などの影響は縮小傾向
- 感染症対策の緩和に伴い、医療分野の需要減少

※比較は全て前期比

売上高

362.8億円

(60.5億円↑/20.0%↑)

- 全てのセグメントで増加
- 高い水準の期首受注残高が寄与

受注高

384.5億円

(38.0億円↑/11.0%↑)

- エンジニアリング事業は、大都市圏を中心に大型案件を獲得し、大きく増加
- メーカー事業、商社事業は、若干の減少

売上総利益

111.4億円

(18.6億円↑/20.0%↑)

- 売上高の増加に伴い、売上総利益も増加

受注残高

314.2億円

(21.7億円↑/7.4%↑)

- 受注高の増加に伴い、受注残高も増加

営業利益

40.2億円

(12.6億円↑/46.0%↑)

- 売上総利益の増加に伴い増加
- 販管費が人件費を中心に増加

経常利益

41.6億円

(12.3億円↑/42.1%↑)

当期純利益

31.4億円

(9.7億円↑/44.8%↑)

2023年12月期 業績推移

(単位：百万円)	2021/12		2022/12		2023/12		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	32,485	100.0	30,229	100.0	36,280	100.0	+ 20.0	+ 6,051
売上総利益	10,489	32.3	9,282	30.7	11,142	30.7	+ 20.0	+ 1,860
販管費	6,507	20.0	6,525	21.6	7,117	19.6	+ 9.1	+ 592
営業利益	3,982	12.3	2,756	9.1	4,025	11.1	+ 46.0	+ 1,269
経常利益	4,110	12.7	2,929	9.7	4,164	11.5	+ 42.1	+ 1,235
当期純利益	3,159	9.7	2,169	7.2	3,141	8.7	+ 44.8	+ 972
受注高	35,014	-	34,643	-	38,452	-	+ 11.0	+ 3,809
受注残高	25,256	-	29,250	-	31,421	-	+ 7.4	+ 2,171

2023年12月期 セグメント別業績推移

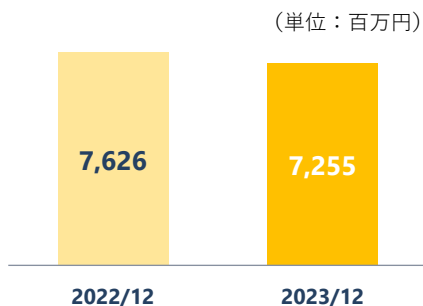
(単位：百万円)		2021/12	2022/12	2023/12	前期比	
					増減率(%)	増減額
 メーカー事業 (環境関連)	受注高	7,240	7,626	7,255	△ 4.9	△ 371
	売上高	8,563	6,288	7,654	+ 21.7	+ 1,366
	売上総利益	3,803	2,580	3,260	+ 26.4	+ 680
 エンジニアリング事業 (水処理関連)	受注高	17,435	16,349	20,835	+ 27.4	+ 4,486
	売上高	14,683	14,408	17,671	+ 22.6	+ 3,263
	売上総利益	4,403	4,234	5,201	+ 22.8	+ 967
 商社事業 (風水力関連)	受注高	10,338	10,667	10,360	△ 2.9	△ 307
	売上高	9,238	9,532	10,954	+ 14.9	+ 1,422
	売上総利益	2,281	2,467	2,680	+ 8.6	+ 213

2023年12月期 セグメント別業績（前期比）

メーカー事業（環境関連）

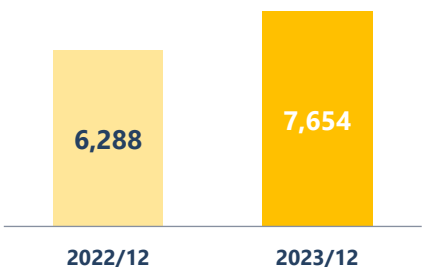
受注高

△3.7億円
(△4.9%)



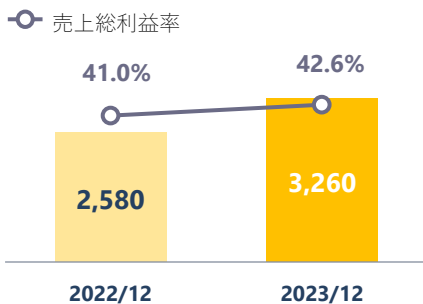
売上高

+13.6億円
(+21.7%)



売上総利益

+6.8億円
(+26.4%)



受注高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 半導体業界の設備投資停滞により減少	△ 226
省エネ・創エネ	● 前期大型受注分を補いきれず蓄電池が減少	△ 102
脱臭	● 脱臭剤交換需要による増加、生物脱臭案件を受注	+ 358
水処理プラント	● 陸上養殖を中心とした水産プラント設備が増加	+ 100
医療	● 感染症対策製品の需要減少	△ 501

売上高

(単位：百万円)

分野	増減要因	増減
計測	● 資機材調達の改善により製品出荷が進み増加	+ 442
省エネ・創エネ	● 蓄電池の大型案件の受注残高が寄与	+ 866
脱臭	● 生物脱硫・生物脱臭関連の増加	+ 151
水処理プラント	● 陸上養殖を中心とした水産プラント設備が増加	+ 191
医療	● 感染症対策製品の需要減少	△ 284

売上総利益

- 売上高の増加に伴い、売上総利益も伸長
- 売上総利益率は、計測分野の売上高増加が寄与し上昇

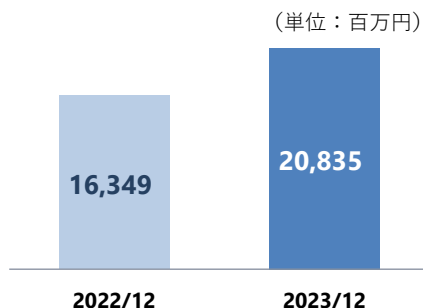
2023年12月期 セグメント別業績（前期比）



エンジニアリング事業（水処理関連）

受注高

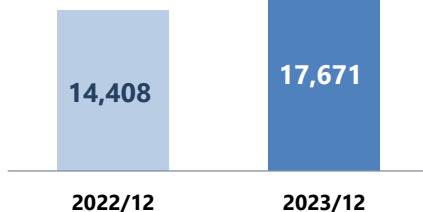
+44.8億円
(+27.4%)



- 水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調
- 大都市圏を中心に大型案件を獲得

売上高

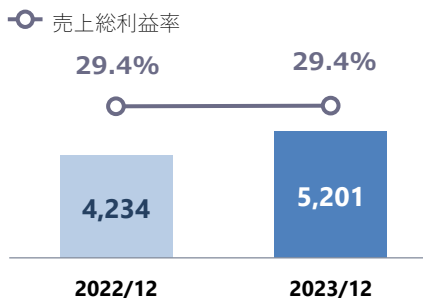
+32.6億円
(+22.6%)



- 高い水準の期首受注残高が売上に寄与

売上総利益

+9.6億円
(+22.8%)



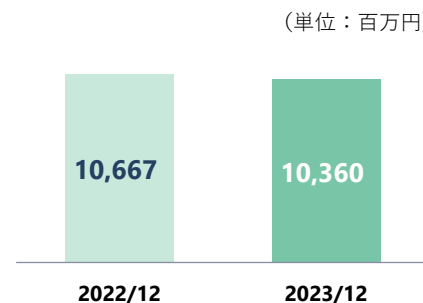
- 売上高の増加に伴い、売上総利益も伸長
- 資機材価格は上昇するものの、原価低減努力により売上総利益率は前年並み



商社事業（風水力関連）

受注高

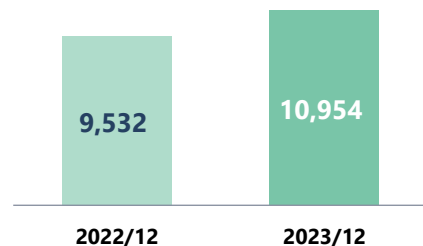
△3.0億円
(△2.9%)



- 納期長期化を見据えた前期の前倒し受注の反動減

売上高

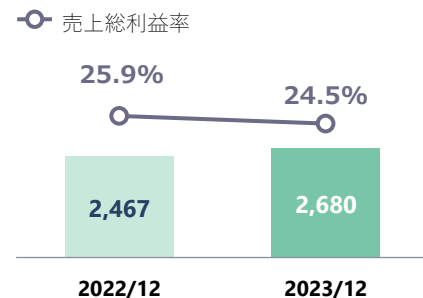
+14.2億円
(+14.9%)



- 高い水準の期首受注残高が売上に寄与

売上総利益

+2.1億円
(+8.6%)



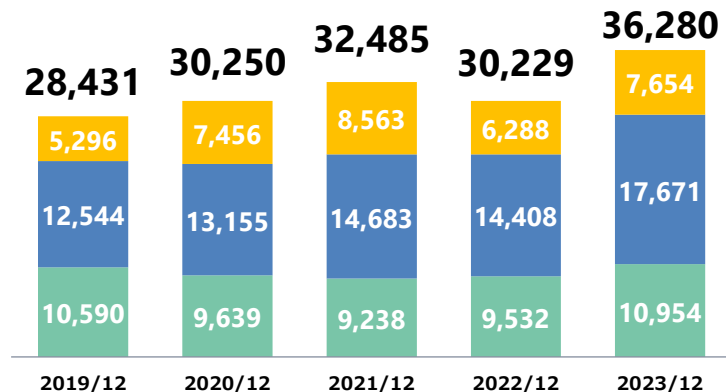
- 大型の低利益率案件により利益率低下
- 原価上昇分の価格転嫁は進む

売上高・売上総利益・受注高・受注残高の推移

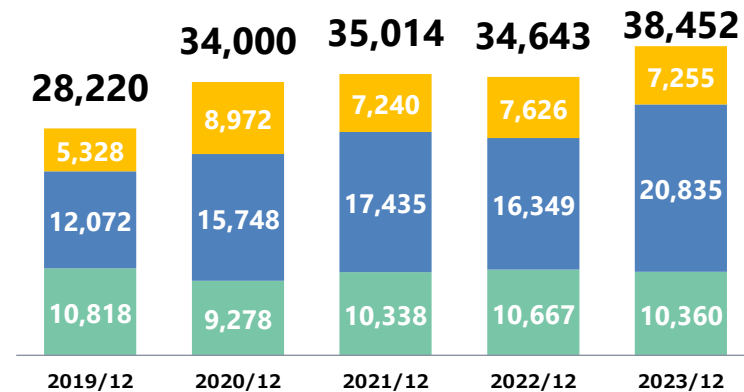
■ メーカー ■ エンジニアリング ■ 商社

(単位：百万円)

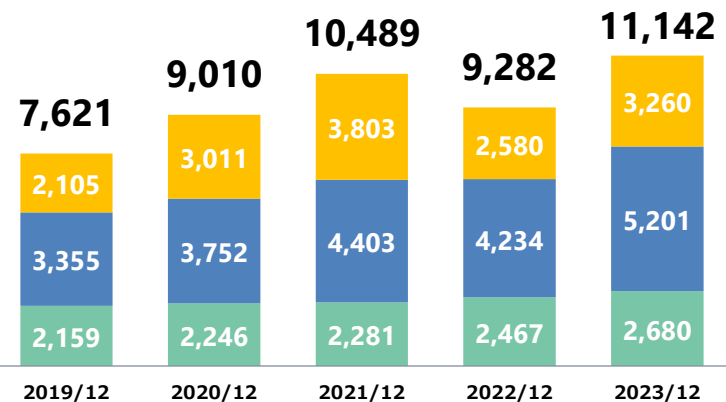
売上高の推移



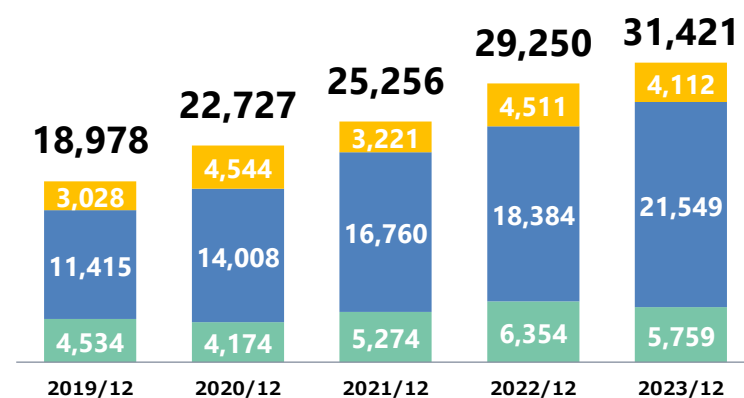
受注高の推移



売上総利益の推移



受注残高の推移



2024年12月期 事業計画

2024年12月期 事業計画

- 足元の市場環境は官民ともに堅調に推移しており、過去最高水準の期首受注残高（前期比+21億円）を背景に増収を見込む
- 物価上昇に伴う資機材価格の上昇に対応し価格転嫁を進め、また原価低減努力により売上総利益率の改善を目指す
- 物価高への対応に伴う人件費の増加、積極的な開発投資による研究開発費の増加により、販管費は増加を計画する

(単位：百万円)	2022/12 実績		2023/12 実績		2024/12 計画		前期比	
		構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)	増減率(%)	増減額
売上高	30,229	100.0	36,280	100.0	38,000	100.0	+ 4.7	+ 1,720
売上総利益	9,282	30.7	11,142	30.7	11,850	31.2	+ 6.4	+ 708
販管費	6,525	21.6	7,117	19.6	7,800	20.5	+ 9.6	+ 683
営業利益	2,756	9.1	4,025	11.1	4,050	10.7	+ 0.6	+ 25
経常利益	2,929	9.7	4,164	11.5	4,200	11.1	+ 0.9	+ 36
当期純利益	2,169	7.2	3,141	8.7	3,150	8.3	+ 0.3	+ 9
受注高	34,643	-	38,452	-	38,500	-	+ 0.1	+ 48
受注残高	29,250	-	31,421	-	31,921	-	+1.6	+ 500

2024年12月期 セグメント別事業計画

		2023/12	2024/12 計画		前期比	
			(単位：百万円)		構成比	増減率(%)
 メーカー事業 (環境関連)	受注高	7,255	7,500	-	+ 3.4	+ 245
	売上高	7,654	7,500	100.0	△ 2.0	△ 154
	売上総利益	3,260	3,250	43.3	△ 0.3	△ 10
 エンジニアリング事業 (水処理関連)	受注高	20,835	20,000	-	△ 4.0	△ 835
	売上高	17,671	19,500	100.0	+ 10.4	+ 1,829
	売上総利益	5,201	5,900	30.3	+ 13.4	+ 699
 商社事業 (風水力関連)	受注高	10,360	11,000	-	+ 6.2	+ 640
	売上高	10,954	11,000	100.0	+ 0.4	+ 46
	売上総利益	2,680	2,700	24.5	+ 0.7	+ 20



2024年12月期 計画のポイント ～メーカー事業（環境関連）～

成長の核とすべく、ニッチ戦略と事業領域の拡大を進める

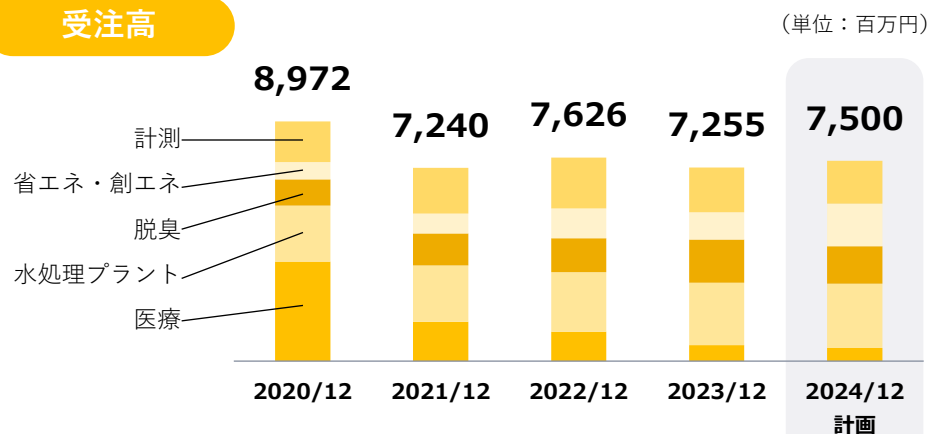
市場環境

- 半導体業界向けの需要の回復時期は不透明
- 陸上養殖施設を中心に水産プラント設備の需要増加
- 脱炭素社会を見据えた蓄電池の需要増加

受注高・売上高

- 蓄電池市場の拡大により省エネ・創エネ分野が増加
- 陸上養殖施設を中心とした水処理プラント分野の増加
- 半導体業界の設備投資停滞により計測分野が減少
- 感染症対策の重要性が薄れ、医療分野は引き続き減少

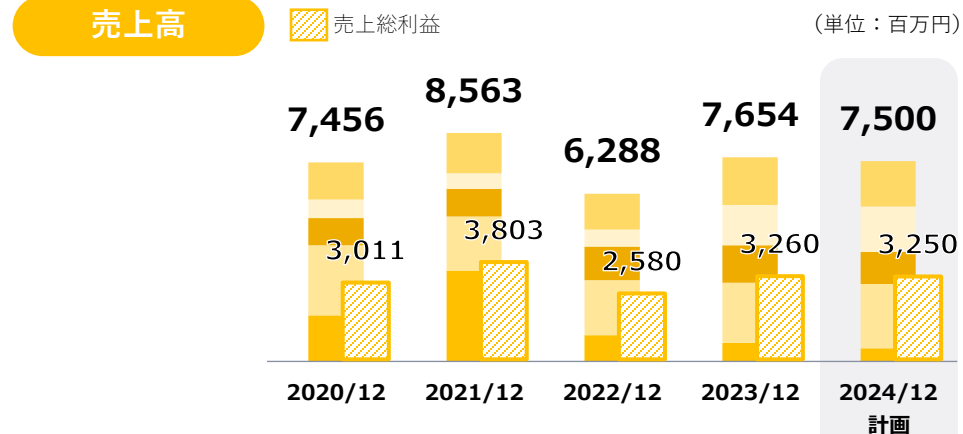
受注高



売上総利益

- 価格転嫁、原価低減努力により売上総利益率は上昇するものの、売上高減少に伴い売上総利益減少

売上高





2024年12月期 計画のポイント ～エンジニアリング事業（水処理関連）～

顧客軸・製品軸の両面から、事業領域を開拓

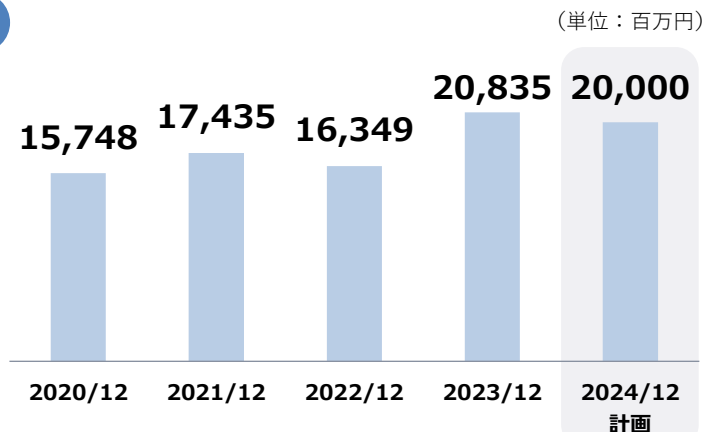
市場環境

- 水インフラ設備の更新・整備需要が堅調
- 防災・減災需要も引き続き高い水準
- 首都圏を中心に案件が大型化傾向
- ケーブル等の電材の調達期間が長期化

受注高

- 水インフラ設備の更新・整備需要、防災・減災需要は引き続き堅調に推移
- 前期大口案件の反動減も、小幅減少に留まる

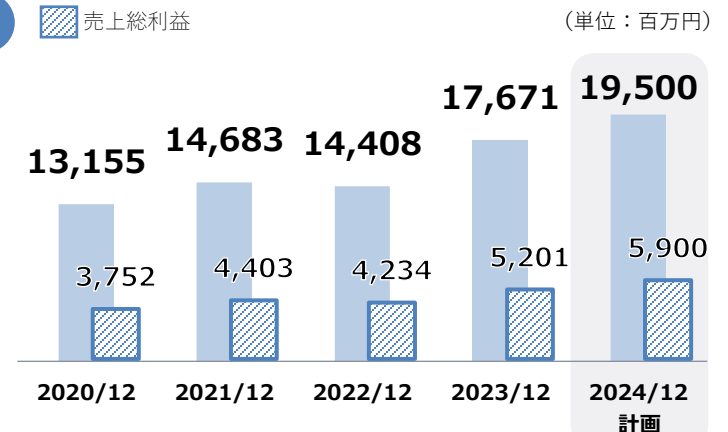
受注高



売上高

- 高い水準の期首受注残高が売上計上

売上高



売上総利益

- 価格転嫁、原価低減努力により売上総利益率上昇



2024年12月期 計画のポイント ～商社事業（風水力関連）～

創業以来の礎である収益基盤を着実に強化

市場環境

- 都市再開発需要や製造業の国内拠点新設需要など、民間設備投資は堅調に推移
- 資材価格の上昇による影響は、需要家への転嫁が緩やかに進み、価格に織り込まれつつある
- ケーブル等の電材の全国的な入手難が、顧客の調達スケジュールに影響を与える懸念あり

受注高

- 都市再開発需要や民間工場の設備投資需要は引き続き堅調に推移

売上高

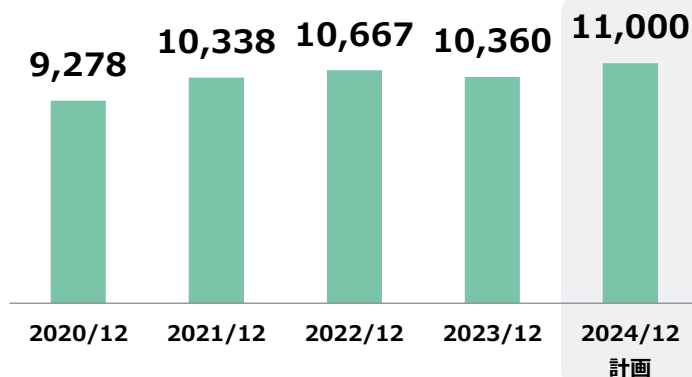
- 期首受注残高は減少しているものの、受注高の増加により売上高は前期並みを確保

売上総利益

- 前期と同水準の売上総利益率を確保

受注高

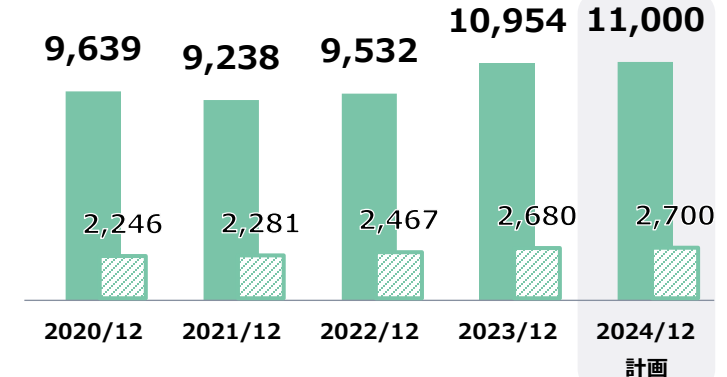
(単位：百万円)



売上高

■ 売上総利益

(単位：百万円)



株主還元

配当

基本方針

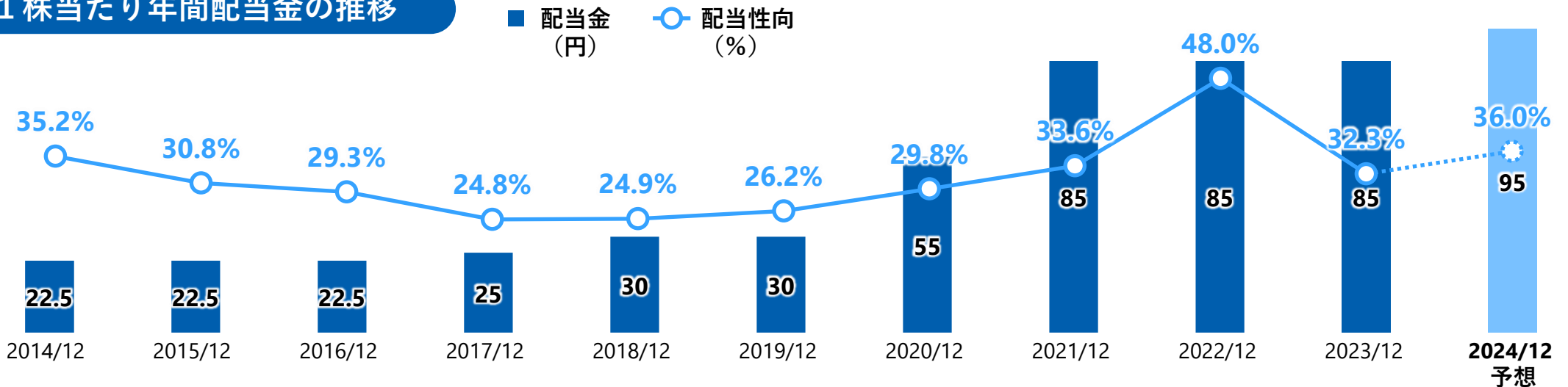
配当性向**35%**を目安に、
安定的かつ継続的な利益還元を実施

2024年12月期は、1株当たり95円（10円の増配）を計画

		2022/12 実績	2023/12 予定	2024/12 予想
配当金	年間	85.0円	85.0円	95.0円
	中間	42.5円	42.5円	47.5円
	期末	42.5円	42.5円	47.5円
配当性向		48.0%	32.3%	36.0%

※2023/12配当金は、2024年3月開催の定時株主総会に付議する予定です

1株当たり年間配当金の推移



自己株式取得額

2.7億円

5.7億円

10.0億円

3.2億円

6.8億円

総還元性向

29.3%

24.8%

42.1%

26.2%

53.9%

65.3%

63.1%

53.8%

自己株式

基本方針

利益還元の一つとして、資金需要・株価水準を考慮しながら、機動的に自己株式取得を実施

自己株式の取得

① 2022年11月に取締役会において決議した内容

取得価額の総額	10億円（上限）
取得する株式の総数	500,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合4.1%
取得期間	2022年11月から2023年10月

② 上記決議に基づき2023年12月期に取得した自己株式

取得価額の総額	6.8億円
取得した株式の総数	253,200株

中期経営計画「EJ2024」の進捗状況

「EJ2024」最終年度計画と2024年12月期事業計画

- 売上高は「EJ2024」最終年度計画通り、売上総利益は計画を上回る（+4.5億円）
- 急速な物価上昇に伴い、人件費、研究開発費を中心に販管費が増加（+8.0億円）
- 販管費の増加により営業利益は40.5億円（△3.5億円）

(単位：百万円)	実績		「EJ2024」 最終年度 2024/12 計画	2024/12 事業計画	差異
	2022/12	2023/12			
売上高	30,229	36,280	38,000	38,000	-
売上総利益	9,282	11,142	11,400	11,850	+ 450
売上総利益率 (%)	30.7	30.7	30.0	31.2	-
販管費	6,525	7,117	7,000	7,800	+ 800
営業利益	2,756	4,025	4,400	4,050	△ 350
営業利益率 (%)	9.1	11.1	11.6	10.7	-
ROE (%)	11.6	15.9	13%以上	13%以上	-

中期経営計画「EJ2024」

売上高・営業利益の状況

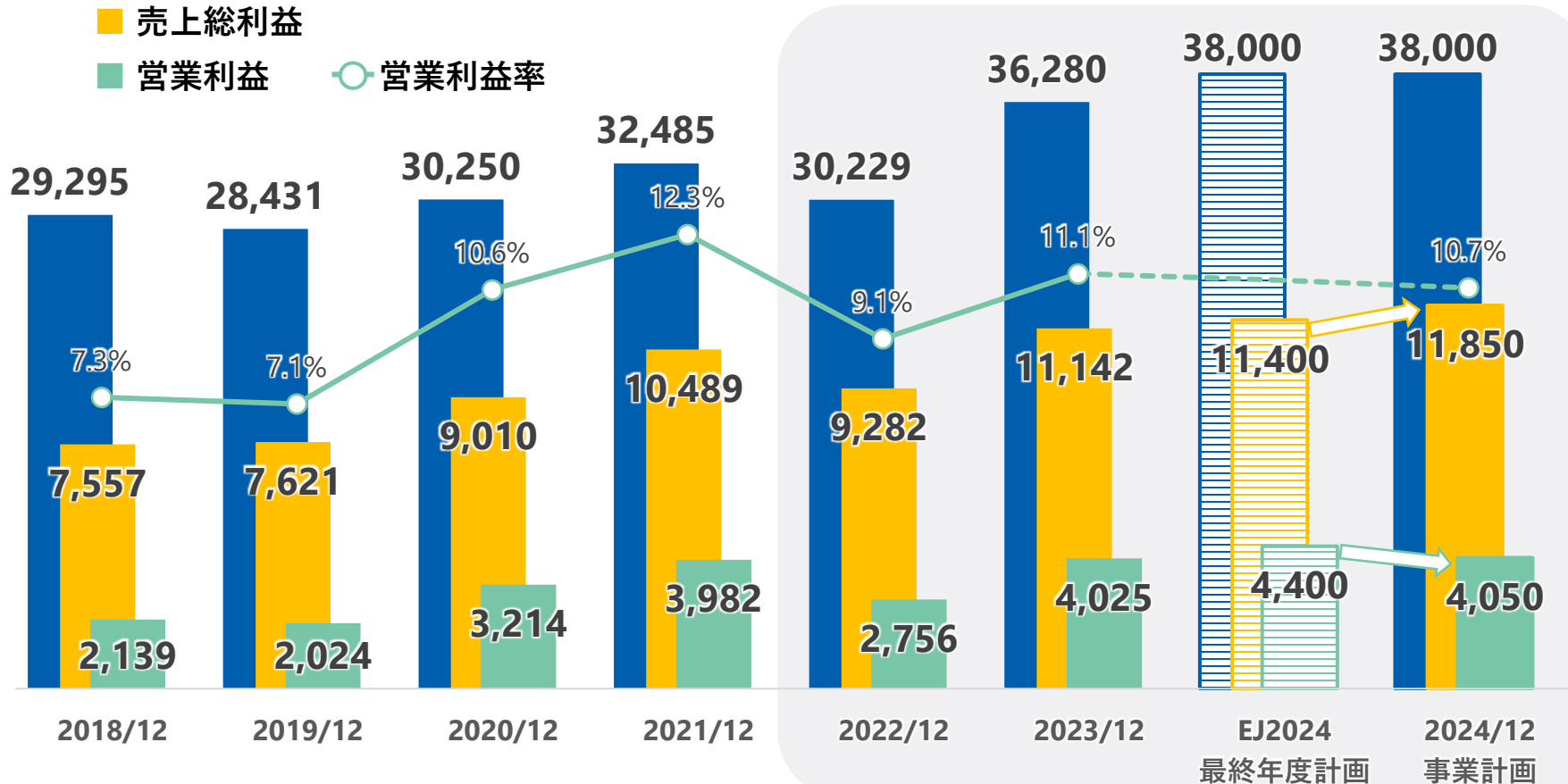
2023年12月期までは「EJ2024」計画を上回る

最終年度となる2024年12月期は、研究開発費及び物価動向等を勘案した人件費等の増加により
販管費の大幅増を計画し、営業利益は40.5億円

■ 売上高
■ 売上総利益
■ 営業利益
○ 営業利益率

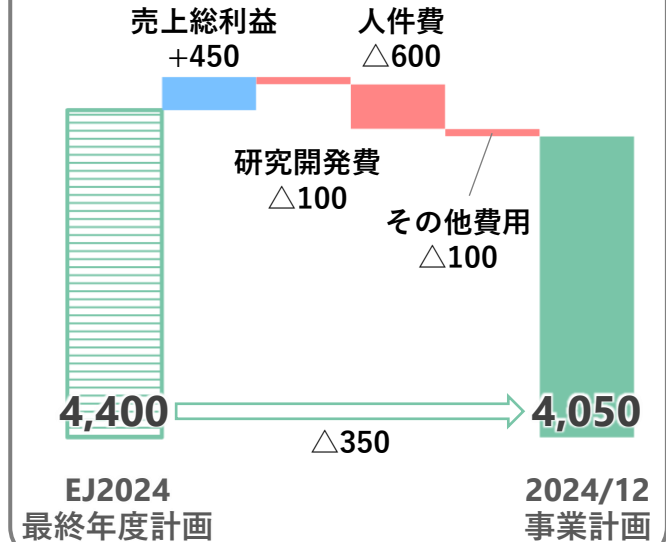
中期経営計画「EJ2024」

(単位：百万円)



営業利益の増減要因

- ・急速な物価上昇等により、人件費及びその他費用が増加
- ・地球環境の維持・改善に向けた製品開発の加速により、研究開発費が増加



2023年12月期の取組みの進捗・成果

基本方針

新事業の創出・
新製品開発の加速

- 防災・減災に貢献する新製品の市場展開
 - ・ 停電時マンホールポンプ起動支援システム
- 蓄電池のラインナップを拡充
- 脱炭素、環境負荷低減に資するソリューションの開発・事業投資
 - ・ 水銀フリーの新型オゾンモニタの開発
 - ・ 次世代パワー半導体関連スタートアップ企業への出資
 - ・ 脱炭素貢献製品の認証取得（川崎C Nブランド2023）

事業領域の拡大

- 国土強靱化基本計画に基づく防災・減災需要に応える
- 新規進出エリアである北海道、新潟、広島などで事業基盤強化
- 官民連携、広域化、包括化対応のための準備を進める

安定的収益基盤の確立

- 積算技術の向上による受注確度の上昇
- 原材料価格の高騰、納期遅延等への対応

取組みの進捗・成果

投資戦略（2022－2024年）

[2023年12月期までの累計実績]

研究開発投資

25～30億円

[14.7億円]

想定される研究開発分野

- 省エネ・創エネ分野での製品開発
- オゾン・光計測技術を応用したセンサ事業への進出
- 次世代水産事業に対応した養殖システム開発
- 高効率水処理システム
- 脱炭素社会に向けた製品開発
- AI/クラウドを活用した水処理システム

営業CFの創出

約88億円

[63億円]



成長投資

25～45
億円



株主還元

設備投資

- ITを活用した生産性向上
- 職場環境の改善（働き方改革）
- 研究開発設備の充実強化
- 事業基盤の維持投資

15～20億円

[4.4億円]

M&A等

- 新製品・新技術の取り込み（ベンチャー投資等も含む）
- エンジニアリング事業の事業領域・エリア拡大
- 商社事業のエリア拡大

10～25億円

[2.0億円]

自己株式の取得

[10.0億円]

配当

[21.4億円]



トピックス

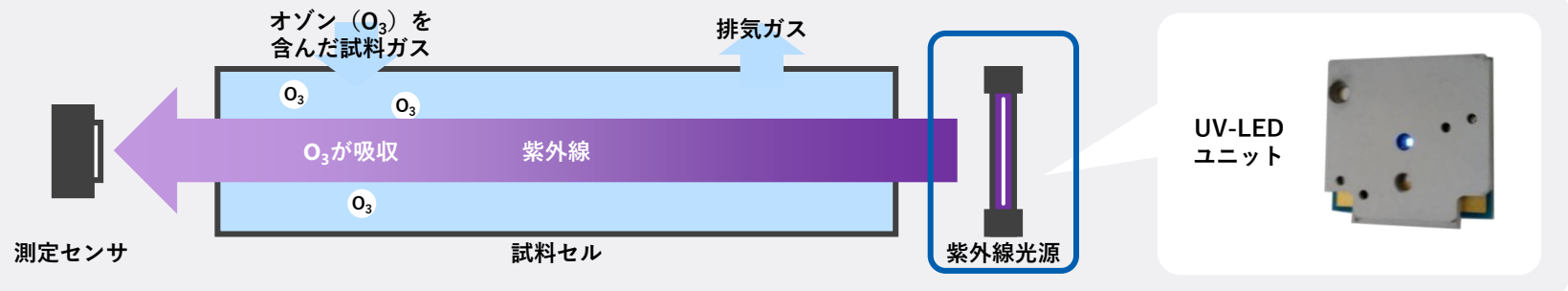
トピックス

水銀フリーの新型オゾンモニタを開発

従来の水銀ランプに代えてUV-LEDを光源に採用し水銀フリーを実現した新型のオゾンモニタを開発しました。発光特性を補正する独自技術により、UV-LED光源では難しいとされていた高精度な測定を可能としています。水銀に関する水俣条約などで制限される水銀を使わず、環境負荷の低減を実現する製品です。受注開始は2024年4月を予定しています。

オゾン濃度測定の仕組み

オゾンには紫外線を吸収する特性があります。紫外線を試料ガスに通し、その吸光度を精密に測ることによって試料ガス中のオゾン濃度を測定できます。



高精度オゾンモニタ EG-3100 シリーズ

- UV-LED 光源を採用し水銀フリー化を実現
- 当社独自の発光補正技術により低圧水銀ランプ製品と同等精度を実現
- 浄水プロセスのオゾン処理における全てのガス測定ポイントを網羅するラインアップ
- 高精度で高分解能なので、研究・開発用途にも適用可能



《EG-3100》

新製品

インライン型オゾンモニタ EG-690

- UV-LED 光源を採用し水銀フリー化を実現
- 当社独自の発光補正技術により低圧水銀ランプ製品と同等精度を実現
- 半導体製造プロセスのオゾンガス配管にインラインで設置可能
- 装置組込に適したスモールフットプリント



《EG-690》

新製品

トピックス

腐植質脱臭剤「ボエフ」がCO₂削減に貢献する製品として川崎CNブランドに認定

腐植質脱臭剤「ボエフ（EPSR1）」が、川崎 CN ブランド等推進協議会による川崎 CN ブランド 2023 に認定されました。

川崎CNブランドは、川崎市内で研究開発または製造された製品・技術、サービスについて、原材料調達から廃棄・リサイクルまでの製品ライフサイクル全体におけるCO₂排出量を算定し、従来製品等と比較して削減が認められているものを認定する川崎市の取り組みです。

「ボエフ」は従来の活性炭と比較して、製品ライフサイクル全体で約 12%の CO₂排出量を削減できることが認定されました。



《腐植質脱臭剤 ボエフ（EPSR1）》



腐植質脱臭剤「ボエフ」

ボエフは、下水道関連施設等に設置される乾式脱臭設備で使用される脱臭剤です。土壌由来の腐植質を原料として常温処理で製造しており、製造や再生処理の際に大量のエネルギーが必要な活性炭に対して、製品ライフサイクル全体でのCO₂排出量を削減できます。

また、ボエフは湿度が高くても脱臭効果が低下しづらく、吸着性能が長持ちします。



土壌由来の腐植質を原料に含む



その他の材料と混合し造粒



腐植質脱臭剤ボエフ



下水道施設の脱臭設備などに充填



資料編

荏原実業の経営理念・方針

経営理念

豊かな人間環境の創造を目指して社会に貢献する

美しい地球を甦らせること・・・・・・・・・・。

それは、人類に課せられた21世紀の大きな課題です。

荏原実業は、環境に対する社会的な関心が高まる以前から環境保全のエキスパートとして様々なノウハウを蓄積し続けています。

今後も無限の可能性を秘めた環境保全のリーディングカンパニーを目指し、企業努力を結集してまいります。

経営方針

利益成長による企業価値＝株主価値の拡大



事業概要

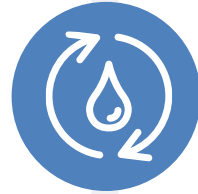
3つの事業セグメント



メーカー事業 (環境関連)

環境関連製品・設備の開発・製造・販売

- 自社製品を扱う最も注力している事業
- 利益率が高く、売上総利益構成比50%を目標



エンジニアリング事業 (水処理関連)

上下水道設備の設計・施工・メンテナンス

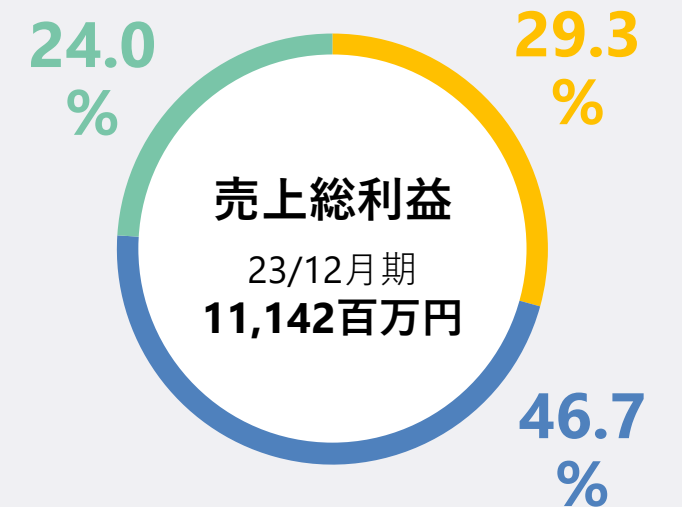
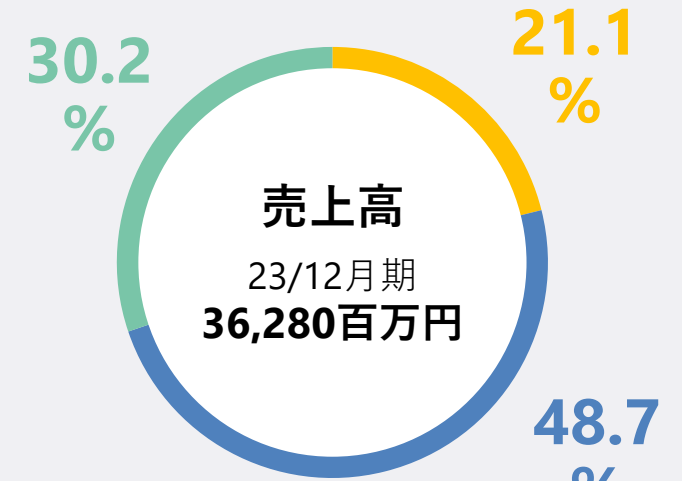
- 更新・修繕需要や防災需要は堅調
- 事業領域を開拓・拡大



商社事業 (風水力関連)

荏原製作所グループ製品を中心としたポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

- 主力のポンプのほか、新商材の取扱いにも注力
- 再開発案件に対応



沿革

社会からの要請に応え
水と空気をテーマに
事業を拡大

1946年
スタート



商社事業 (風水力関連)

荏原製作所グループ製品を中心とした
ポンプ・送風機・空調冷熱機器等の代理店販売

日本の戦後復興のインフラ整備を支えるために事業を開始

1956年
スタート



エンジニアリング事業 (水処理関連)

上下水道設備の設計・施工・メンテナンス

浄水場・下水処理場等のニーズの多様化に伴い、
設備の設計・施工・メンテナンスなどを開始

1976年
スタート



メーカー事業 (環境関連)

環境関連製品・設備の開発・製造・販売

顧客の抱えるニッチで専門的な課題に応えるべく自社製品を開発

1998年 JASDAQ登録

2001年 東証2部上場

2004年 東証1部上場

2022年 プライム市場移行

売上高推移のイメージ

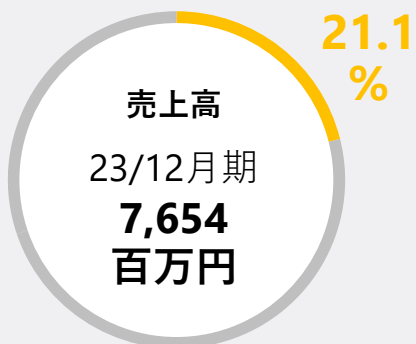
セグメント別事業概要 メーカー事業（環境関連）



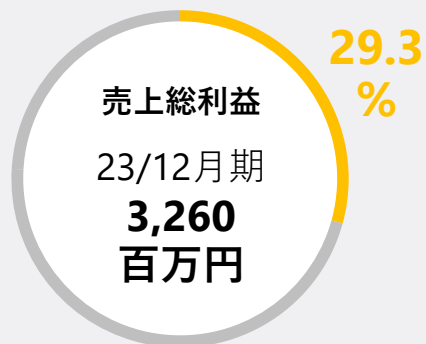
メーカー事業（環境関連）

環境関連製品・設備の
開発・製造・販売

連結に占める割合



連結に占める割合



社会からの要請：
水と空気における
専門性の高い製品へのニーズ



コンセプト

水と空気の分野における
ニッチで専門性の高い製品
を市場に供給

競争力の高い
オリジナル製品を供給
高い利益率を誇る

多様な顧客属性・製品ラインナップ

計測	高精度 オゾン モニタ		半導体用 オゾン モニタ	
省エネ ・ 創エネ	住宅用 蓄電池		省エネ ブロウ	
脱臭	腐植質 脱臭剤		生物 脱硫装置	
水処理 プラント	高効率 砂ろ過器		陸上養殖 システム	
医療	簡易陰圧 装置		オゾン 室内消毒 装置	

セグメント別事業概要 メーカー事業（環境関連）

分野	事業内容	主要顧客	製品例
計測	<ul style="list-style-type: none"> 主に水処理で使われる計測機器の製造及び販売 半導体分野向けの計測機器の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（高度浄水施設、下水処理施設） 民間工場（半導体、液晶、食品など） 	<p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>半導体用オゾンモニタ</p> 
省エネ・創エネ	<ul style="list-style-type: none"> ZEB・ZEH関連製品の開発、設計、施工及び販売 省エネプロワを中心とする送風機の製造及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業（空調機メーカー、オフィスビルなど） 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 	<p>住宅用蓄電池</p>  <p>省エネプロワ</p> 
脱臭	<ul style="list-style-type: none"> 産業用脱臭剤を中心とする脱臭剤・装置の製造及び販売 生物脱臭・脱硫装置の設計、製作及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設（下水処理施設、農業集落排水施設） 民間工場（食品、飲料など） 商業施設（除害設備） 	<p>腐植質脱臭剤</p>  <p>生物脱硫装置</p> 
水処理プラント	<ul style="list-style-type: none"> 産業用水設備・産業排水処理施設の設計及び施工 栽培漁業・養殖業及び水景施設向けエンジニアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 民間工場（食品、飲料、製紙、化学など） 公共施設（水産試験場など） 	<p>高効率砂ろ過器</p>  <p>陸上養殖システム</p> 
医療	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策、救急災害対策等、医療関連機器の開発及び販売 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関、自治体、中央官庁など 民間企業、民間工場など 	<p>簡易陰圧装置</p>  <p>オゾン室内消毒装置</p> 

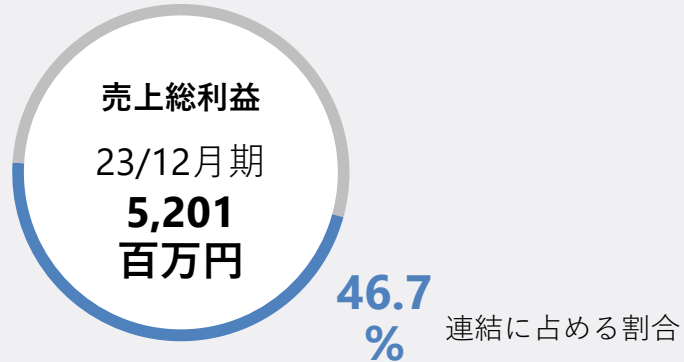
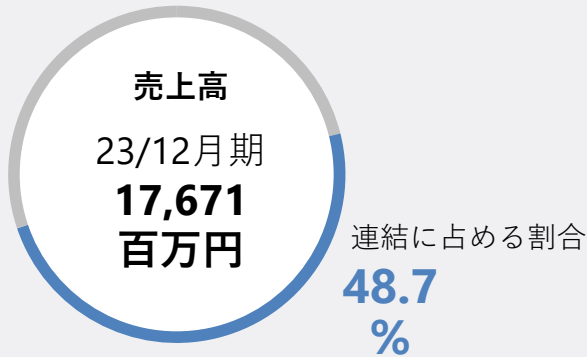


セグメント別事業概要 エンジニアリング事業（水処理関連）



エンジニアリング事業 （水処理関連）

上下水道設備の設計・施工・
メンテナンス



上水道施設



河川、湖及び地下水などの取水設備から各種浄水場設備・家庭や事業所などに水を供給する配水設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

下水道施設



汚水を集めて下水処理場に送る中継ポンプ場から、各種下水処理場設備・処理されたきれいな水を川などへ戻す水処理設備まで、全ての設備機器・装置の設計・施工・メンテナンスを実施。

雨水排水機場施設



台風など集中豪雨による河川の氾濫・溢水などの大きな被害から地域住民の安全な生活を守る設備として全国に展開。施設の雨水排水ポンプ設備及び電気設備の設計・施工・メンテナンスを実施。

マンホールポンプ施設



下水道の普及において欠かせない小規模な汚水中継ポンプ施設の新兵器として全国で活躍しています。設置スペースが取れない場所で採用され、汚水収集槽（マンホール）に水中型ポンプを設置したコンパクトな設備を提供。

クラウド型 監視システム E-Qias Cloud



上下水道関連施設を遠隔監視するシステムを提供。



セグメント別事業概要 商社事業（風水力関連）



商社事業（風水力関連）

荏原製作所グループ製品を中心とした
ポンプ・送風機・空調冷熱機器等の
代理店販売

連結に占める割合

30.2
%

売上高
23/12月期
10,954
百万円

連結に占める割合

24.0
%

売上総利益
23/12月期
2,680
百万円

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を
商業ビル等の各種建築物や工場向けに販売



給水ポンプ
ユニット

消火
ポンプ

風水力/空調冷熱/
エネルギー/その他



ファン



破碎機

建築設備・
プラント施設鋼製架台
(スチールストラクチャー)
製作・取付け

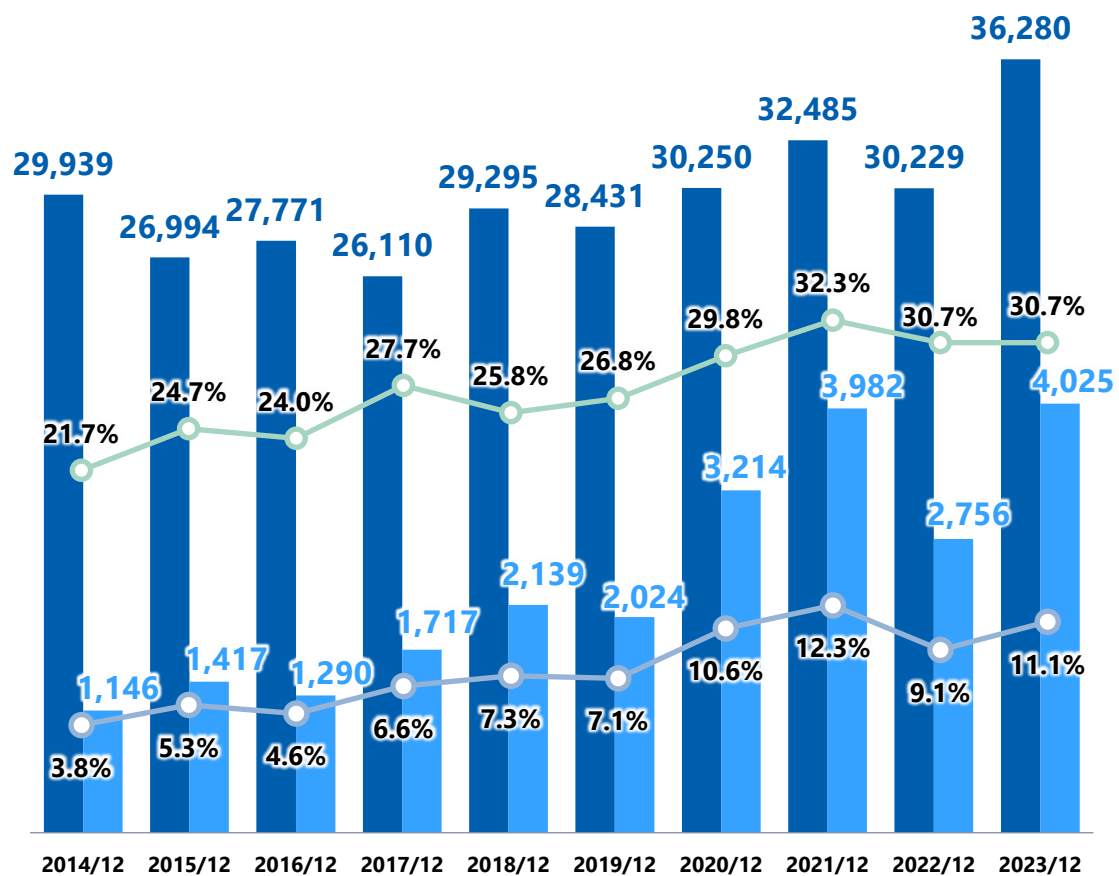


業績推移（過去10年間の業績）

売上高・営業利益の推移

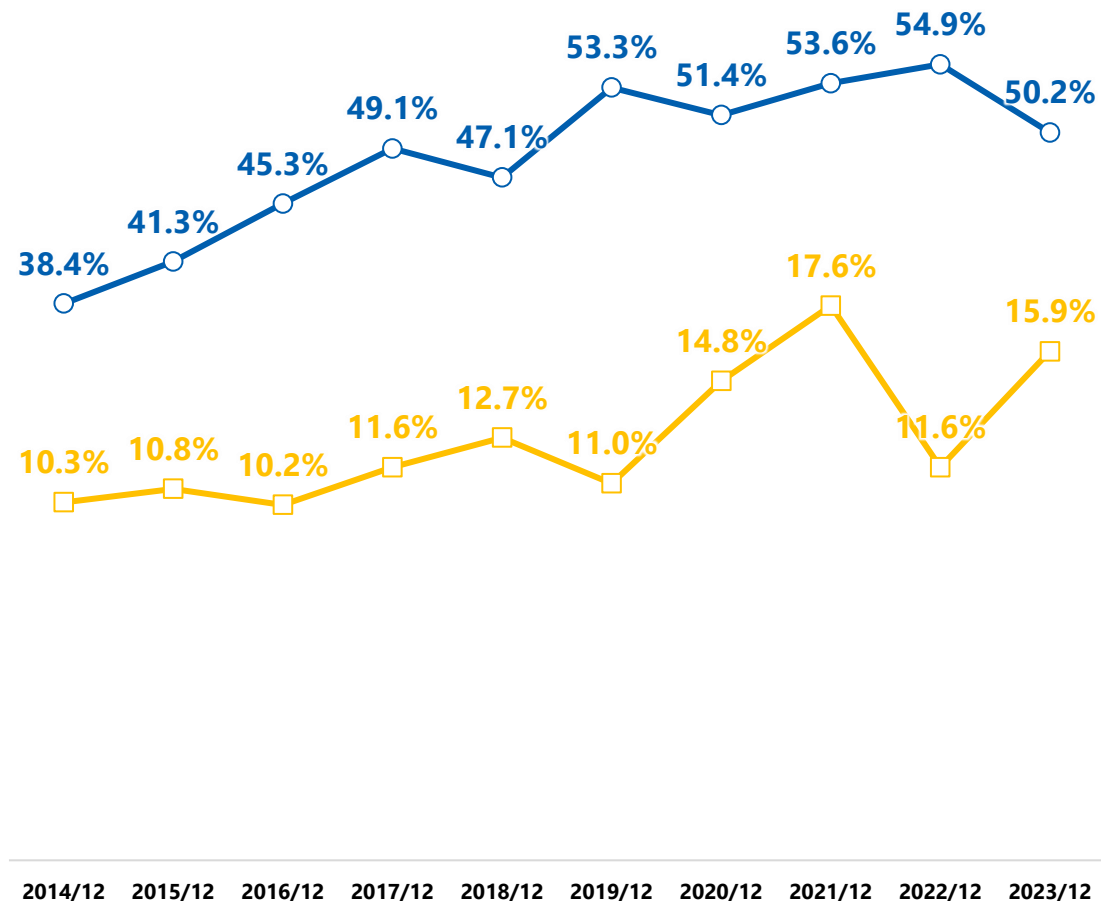
■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率 ○ 売上総利益率

(単位：百万円)



ROE・自己資本比率の推移

○ 自己資本比率 □ ROE



業績推移

(単位：百万円)		2020/12		2021/12		2022/12		2023/12		2024/12	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	1,519	+25.3%	1,717	+13.0%	1,908	+11.1%	1,682	△11.8%	1,600	△4.9%
	省エネ・創エネ	642	+7.0%	739	+15.1%	1,120	+51.6%	1,018	△9.1%	1,600	+57.2%
	脱臭	987	△17.0%	1,197	+21.3%	1,264	+5.6%	1,622	+28.3%	1,400	△13.7%
	水処理プラント	2,094	△2.1%	2,110	+0.8%	2,228	+5.6%	2,328	+4.5%	2,400	+3.1%
	医療	3,729	+1873.0%	1,476	△60.4%	1,106	△25.1%	605	△45.3%	500	△17.4%
	メーカー（環境関連）	8,972	+68.4%	7,240	△19.3%	7,626	+5.3%	7,255	△4.9%	7,500	+3.4%
	エンジニアリング（水処理関連）	15,748	+30.4%	17,435	+10.7%	16,349	△6.2%	20,835	+27.4%	20,000	△4.0%
	商社（風水力関連）	9,278	△14.2%	10,338	+11.4%	10,667	+3.2%	10,360	△2.9%	11,000	+6.2%
連結合計	34,000	+20.5%	35,014	+3.0%	34,643	△1.1%	38,452	+11.0%	38,500	+0.1%	
売上高	計測	1,388	+6.4%	1,514	+9.1%	1,350	△10.8%	1,792	+32.7%	1,700	△5.1%
	省エネ・創エネ	689	△6.1%	590	△14.4%	637	+8.0%	1,503	+135.9%	1,700	+13.1%
	脱臭	1,016	△9.1%	1,023	+0.7%	1,252	+22.4%	1,403	+12.1%	1,200	△14.5%
	水処理プラント	2,629	+47.4%	2,033	△22.7%	2,060	+1.3%	2,251	+9.3%	2,400	+6.6%
	医療	1,733	+386.8%	3,402	+96.3%	989	△70.9%	705	△28.7%	500	△29.1%
	メーカー（環境関連）	7,456	+40.8%	8,563	+14.9%	6,288	△26.6%	7,654	+21.7%	7,500	△2.0%
	エンジニアリング（水処理関連）	13,155	+4.9%	14,683	+11.6%	14,408	△1.9%	17,671	+22.6%	19,500	+10.4%
	商社（風水力関連）	9,639	△9.0%	9,238	△4.2%	9,532	+3.2%	10,954	+14.9%	11,000	+0.4%
連結合計	30,250	+6.4%	32,485	+7.4%	30,229	△6.9%	36,280	+20.0%	38,000	+4.7%	
売上総利益	メーカー（環境関連）	3,011	+43.0%	3,803	+26.3%	2,580	△32.2%	3,260	+26.4%	3,250	△0.3%
	エンジニアリング（水処理関連）	3,752	+11.8%	4,403	+17.4%	4,234	△3.8%	5,201	+22.8%	5,900	+13.4%
	商社（風水力関連）	2,246	+4.0%	2,281	+1.6%	2,467	+8.1%	2,680	+8.6%	2,700	+0.7%
連結合計	9,010	+18.2%	10,489	+16.4%	9,282	△11.5%	11,142	+20.0%	11,850	+6.4%	
販管費	5,795	+3.6%	6,507	+12.3%	6,525	+0.3%	7,117	+9.1%	7,800	+9.6%	
営業利益	3,214	+58.8%	3,982	+23.9%	2,756	△30.8%	4,025	+46.0%	4,050	+0.6%	
営業外収益	209		230		241		241		200		
営業外費用	61		102		68		103		50		
経常利益	3,363	+55.0%	4,110	+22.2%	2,929	△28.7%	4,164	+42.1%	4,200	+0.9%	
特別利益	3		338		140		201		200		
特別損失	27		57		21		0		-		
税引前利益	3,339	+53.9%	4,392	+31.5%	3,048	△30.6%	4,365	+43.2%	4,400	+0.8%	
当期純利益	2,342	+54.9%	3,159	+34.9%	2,169	+31.3%	3,141	+44.8%	3,150	+0.3%	



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。